

自動車に関係する踏切事故については、各鉄道事業者において、立体交差化や統廃合による踏切の廃止をはじめ、注意喚起の看板や、踏切障害物検知装置及び踏切支障報知装置（非常ボタン）等の設置など、踏切事故防止に向けた取り組みが行われているところです。

しかしながら、本号事例 2～4 のような踏切事故を防ぐためには、自動車運転者の交通安全意識や、注意力の向上に期待するところが大きいことも事実です。

そこで、各鉄道事業者や行政機関、関係団体等が一体となって「踏切事故防止キャンペーン」が行われているほか、運転免許センターや自動車学校等との協力により自動車運転者向けの講習等、事故防止・啓発に向けた各種取り組みが展開されています。

そのような取り組みの一環として、西日本旅客鉄道株式会社 Web サイト（ホームページ）における、踏切事故防止に関するコンテンツについてご紹介します。

同サイトでは、ドライバー・歩行者の方に対して、踏切事故に関する理解促進を図ることを目的として、踏切に潜む危険性を分かりやすく説明したアニメーションや、踏切事故に関する統計資料をグラフ化して掲載することにより、踏切事故防止に対する意識の向上を促しています。

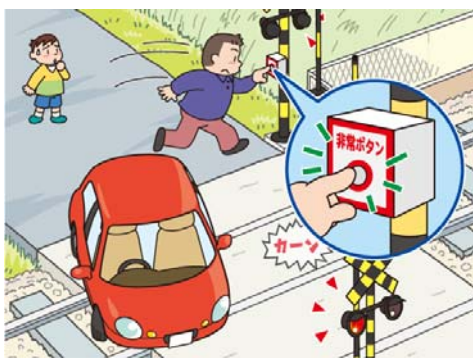
同サイト内における「踏切でのルールやマナー」

- ▶ **警報機が鳴ったら渡らない**
⇒直前横断による踏切事故が大半を占めています
- ▶ **交通ルールを守ろう**
⇒幅員の狭い踏切など、交通規制がある踏切に無理に進出して踏切内で立ち往生することによる事故も発生しています
- ▶ **踏切で危険を感じたら迷わず非常ボタンを押そう**

(参考：西日本旅客鉄道株式会社 「踏切事故防止」)

<http://www.westjr.co.jp/safety/gallery/crossing/story.html>

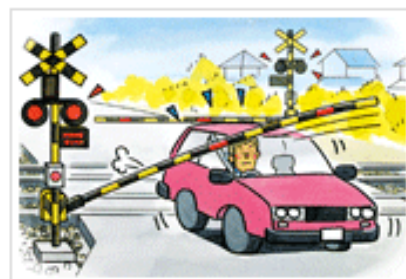
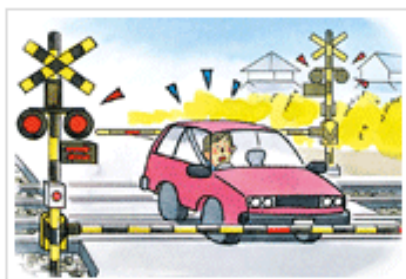
◆アニメーションやイラストの効果的な使用



踏切で危険を感じたら迷わず非常ボタンを押そう



発炎筒で列車に知らせる



もし踏切で閉じ込められたら…、そのまま車を進めて脱出